

富山新聞

落語、法話、雅楽 寺に親しみを

真宗大谷派の仏教青年会

富山別院で19日催し

真宗大谷派富山教区仏教青年会は19日、富山市の真宗大谷派富山別院で落語や法話、雅楽の演奏などを通じて寺に親しんでもらうイベント「お寺に寄りまいけ」を開く。2014年から続けているイベントを、より幅広い世代が参加できるようにリニューアル。関係者は「お寺や仏教に近い存在として感じてもらうきっかけにしたい」と準備を進めている。



イベントをPRする洲上会長—富山市内

同別院では、14年から縁日や園児の遊戯を楽しんでもらう「こどもまつり」が開催されており、16年からは仏教青年会が主催している。これまでの来場者は子どもとその家族が多かったが、会員から「より大勢に足を運んでもらう機会にしたい」との意見があり、今

年から落語や法話などを加えることにした。

当日は、富山教区の真宗大谷派僧侶でつくる雅楽会「興徳楽會」の演奏で幕を開ける。仏教青年会の「言葉を大事にする」という方針に基づき、三遊亭良楽さんの落語や、仏教青年会に所属する僧侶の法話が行われる。僧侶が飲み物を販売

し、来場者と触れ合うコーナーも設ける。

仏教青年会の洲上知明会長は「お寺の雰囲気や僧侶の言葉から、仏教が自分にとって身近なものと感じてもらえるといい」と話した。

問い合わせは洲上会長 090(2129)1759まで。